



# Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会

白書分科会（第18回）および 各作業班合同会合

2022年9月27日（火） 15:00-  
場所：ウェブ開催

まもなく開始いたします。

Beyond 5G 推進コンソーシアム  
企画・戦略委員会



白書分科会（第18回）および 各作業班合同会合

2022年9月27日（火） 15:00-  
場所：ウェブ開催



# 議事次第

## 時間目安

1. 前回会合議事要旨について
2. WP5D対応Ad hoc :30min
3. 周波数作業班（第2回） :10min
4. ビジョン作業班（第26回） :30min
5. 技術作業班（第19回） :20min
6. 白書1.5版最終ドラフト、今後の作業について :15min
7. 今後のスケジュール :5min
8. その他

# ITU-R WP5D第42回会合に向けた対応案 (above100)

Beyond 5G 推進コンソーシアム  
白書分科会 WP5D対応Ad hoc

- 10/10(Mon)-21(Fri)に開催されるWP5D第42回会合に、NTTドコモ様から提供された“Annex 9へ追加測定結果の追記”を入力させていただきます。
  - 9/14(Wed)-23(Fri)にメール審議を頂き、特にコメント等はありませんでしたので、入力を御承認頂いたと判断し、その旨、9/23(Fri)にお知らせ致しました。
  - 9/14(Wed), 22(Thu)にARIB様のWP5D対応WG、及び、標準化部会に参考情報として入力致しました。
  - 9/26(Mon)に総務省様のIMT-WGで御審議頂きました。
  - 9/29(Thu)に総務省様の地上業務委員会で御審議頂き、御承認を頂けるとWP5Dへ日本寄与文書として入力されることとなります。
- 2023/1/30(Mon)-2/10(Fri)に開催予定の第43回会合にも、本文や新規・改版annexの提案は可能ですので、御検討頂きたく宜しくお願い致します。

- 1. Introduction
- 2. Scope
- 3. ITU Related documents
- 4. Radio wave propagation in bands above 100 GHz
  - 4.1 Propagation losses
  - 4.2 Recent activities on radiocommunication channel characteristics and modeling
  - 4.3 Summary of the results of the studies
- 5. Characteristics of IMT in bands above 100 GHz
  - 5.1 Outdoor-to-outdoor coverage and link budget
  - 5.2 Outdoor-to-indoor coverage
  - 5.3 Mobility
  - 5.4 Impact of bandwidth
  - 5.5 Channel Sparsity

現在の作用文書において議論対象の下限周波数として、[92 GHz][100 GHz]が併記されていますが、日中韓の共同寄与文書として92GHzを採用する提案を第42回会合に入力致します。

注: 赤字は章立てのみでテキストなし



- 6. Enabling technologies toward IMT in frequencies above 100 GHz
  - 6.1 Antenna technology
  - 6.2 Semiconductor technology
  - 6.3 Material technology
  - 6.4 MIMO and Beamforming
- 7. Deployment scenarios and architectures
  - 7.1 Use cases for IMT in bands above 100 GHz
  - 7.2 Deployment scenarios
  - 7.3 Deployment architecture
- 8. Conclusions

- Annex 1 (Nokia): Summary worldwide measurement campaigns
- Annex 2 (China): Channel characterization study on frequency band 140 GHz, 220 GHz and 300 GHz
- Annex 3 (China): Pathloss study on frequency band 100 GHz and 220 GHz to 330 GHz in indoor scenario
- Annex 4 (Samsung): Channel measurement results for both LoS and NLoS (non-LoS) links in outdoor urban environments
- Annex 5 (Japan): Basic transmission loss study on frequency band from 2 GHz to 300 GHz bands in urban microcell scenario
- Annex 6 (Rohde&Schwarz): Channel measurement campaign performed in an urban micro and in an indoor scenario at 158 GHz and 300 GHz
- Annex 7 (China): Study on the dependence of rain attenuation on the rain drop dimension

- Annex 8 (Korea): 159 GHz measurement and characteristics in an urban street-canyon environment
- Annex 9 (Japan): Study on the effect of reflected waves at 160 GHz in an indoor corridor
- Annex 10 (Japan): Study on the angle of arrival at 160 GHz and 300 GHz in an indoor conference room
- Annex 11 (Nokia): Sub-THz Propagation Measurement Campaign at 142 GHz in an Outdoor Environment
- Annex 12 (China): Field Test of Communication Prototype in 220 GHz band
- Annex 13 (China): Pathloss study on frequency band 140 GHz in an indoor data center

for WP5D#42  
**Vision関係概要**  
<白書分科会用>rev1

2022.09.27  
15:00-18:00

WP5D対応Adhoc  
Vision関係



# 白書分科会(22.09.27)での審議事項

## 1) WP5D#42会合へ向けた寄書について

短期間でしたが、9/17-9/22 12:00でメール審議し、お二方からのコメントを反映して、9/26のIMT WGに提出した。



和文要旨\_VISION  
与草案作業文書寄書



寄書本文案\_VISIO  
N



和文要旨 6.2  
Timeline



寄書案 本文 6.  
2 Timeline



# WP5D#42へ向けた寄書作成

- #41会合で日本が提案したIMT for 2030 and beyondの概念図(Usage Scenarios図)の説明テキスト (HWJ:朱様が原案作成) を提案。
- Coverageに係る能力(capability)に係る定義的説明文について修正案を提案。「カバレッジを実現する様々な構築手法に対応できる能力」を有するという主旨。(HIBSに関係)
- #41会合で集中検討された、User and application trendおよびUsage scenariosに関する内容について、これまで入力した日本提案が適切に反映されているか精査。一部漏れ、要修文箇所あり、修正案を提案。併せて、分量を削減するためのテキストの見直しを提案。
- IMTと直接関係ないそれ自体が独立した技術(AI、sensing、等)とIMT無線インタフェース技術との関係を支援/被支援の関係で記述し、相互の位置付けを明確化するテキストを、1. Introductionに盛り込んだ。



# WP5D#42へ向けた寄書作成

- #41会合で開催されたWORKSHOPの提案/提言を踏まえ、検討中のVISION勧告草案へ向けた作業文書への反映について検討が必要。  
(HEXA-X等のベンダー/事業者の検討グループの提案は、既に作成中の新勧告草案へ向けた作業文書に反映されているが、アカデミアや他の研究機関の提言が宙に浮いた状態。)

(WP5D対応WG内でのコメント)

- 提言の中には、WP5Dの所掌への適合の有無の判別が必要
- Vision勧告の完成時期が差し迫っている点も考慮が必要

以上を勘案し、これら意見を纏めた1段落程度のテキストを作成し、白書分科会で対応しているVision勧告案に係る寄書案に含めることでARIBのWP5D対応WGで集約された。



# WP5D#42へ向けた寄書作成

- 作業文書の6.2 Timelineのセクションについて、日中韓の共同寄書を提出。・・・作成中の新勧告案の修正提案になる

## 提案する【修正案】

- 時間軸と矢印の長さをWP5D#41(6月会合)におけるAd hoc Workplanで議論された結果に基づいて、合わせた形にする。
- 他の無線システムとの関係に係る矢印の位置を一番下の位置に移動する。併せて、integrationの表現をinterconnectingに変更する。
- 更に、"and"を"and/or"に、また色の変更とエディトリアルを行う。



# 今後の日程

- 9/26(Mon): **IMT WG(15:00-17:00)**
- 9/26(Mon): **白書分科会幹部会(18:00-19:00)**
- 9/27(Tue): **白書分科会**
- 9/29(Thu): **地上業務委員会**
- 10/ 3(Mon): ITU-R WP5D入力締め切り
- 10/10(Mon)-21(Fri):ITU-R WP5D第42回会合

# 参 考



# 【参考】Vision勧告案の作業状況 in #41

## ◎ SWG Visionで審議

- 章構成の変更：日本提案の § 3.2 「IMT for 2030 and beyondの役割」をフィンランドの意見もあって、§ 2.1 Goals and societal considerationに移動。テキストもエッセンスに絞る圧縮を実施。
  
- #41会合では、§ 2.2 User and application trend、§ 4 Usage scenarios of IMT for 2030 and beyondの導入部テキストについて集中検討。
  - § 2.2：11のサブテーマについて、各入力寄書のエッセンスを含め、簡潔に纏められた。
  - § 4：導入部のテキストの簡潔化の他、所謂IMT for 2030 and beyondの特徴を表現する概念図を描くことになるが、現状は、提案された図が全て列挙された状態で、次回以降に審議、最後に一本化される。
  - § 5：IMT for 2030 and beyondのcapabilityについては、各能力について、今会合への入力寄書で提案された数値情報を一覧表に追加するとともに、能力に係り提案された種々タイトル表現を一本化、ならびに、その能力を定義するテキストを作成。候補数値は列挙された状態。  
今後、詰めの議論が行われる。現時点、16以上の能力項目となっている。

これら検討作業を通じ、勧告案の分量も併せて低減させた。



# Vision勧告草案関係

※ (赤字) #41会合で集中議論された項目。

## 現状章構成

1	Introduction	4
2	Trends for IMT towards 2030 and beyond	5
2.1	Goals and <b>societal consideration</b>	5
2.2	<b>User and application trends</b>	7
2.3	Technology trends	13
2.4	Studies on technical feasibility of IMT in bands above 100 GHz	13
2.5	Spectrum implications	13
3	Evolution of IMT	14
<b>4</b>	<b>Usage scenarios of IMT for 2030 and beyond</b>	<b>15</b>
5	Capabilities of IMT for 2030 and beyond	30
6	Additional framework and objectives	38
6.1	Relationships	38
6.2	Timelines	38
6.3	Focus areas for further study	40



# Vision勧告草案関係

※ (赤字) #41会合で集中議論された項目。

## 2. 2のサブセクション

### 2. 2 User and application trends

2. 2. 1 AI Everywhere

2. 2. 2 Smart industry

2. 2. 3 Immersive multimedia and multi-sensory communication

2. 2. 4 Digital twin and extended world

2. 2. 5 Seamless and ubiquitous coverage

2. 2. 6 E-health and well being

2. 2. 7 Sensing

2. 2. 8 Pervasive IoT

2. 2. 9 Communication and computing convergence

2. 2. 10 Native trustworthiness

2. 2. 11 Sustainability



# WRC23 議題10(WRC27審議議題)に関連した情報

B5G/6G/IMT2030用の新周波数帯特定へ向け、ITU-Rでの検討に必要な、WRC新議題化（議題10）に関連した情報

【規則・計画分科会におけるメール審議から引用】（非常に的確なので引用）  
NICT様からの新議題設定提案に関するNTTドコモ新様のコメント

「今回のWRC23・議題10の提案ではIMT特定について言及されており、移动通信事業者として関連性が出てまいりますので、コメントさせていただきます。

まず、IMT特定の議題設立については、過去のWRC議論でも毎回大きな議論となっており、戦略的かつ慎重な対応が必要であると考えます。

- ・ NICT様のご提案では252-296 GHzの周波数のみが言及されておりますが、当該周波数を先行して日本提案をすることが果たして得策かという疑問があります。
- ・ 6G/IMT-2030の検討に関連して、どのような周波数帯が必要になってくるかという検討も進める動きもあります。
- ・ よって、これらの検討の動きも踏まえた上で、より包括的なIMT特定の議題提案を、日本としては実施すべきと考えます。またスケジュール的にも、新議題提案は、最終APG会合の1回前（即ち、APG23-5（2023 1Q））から実施すれば間に合うと考えます。」



# APG23-4 : WRC23 議題10(WRC27審議議題)に関連情報

## **4.3.2 Allocation of 275-300 GHz to MS, FS, RAS and EESS (passive) on a primary basis**

A proposal was received to extend frequency ranges in the Table of Frequency Allocations according to technology developments and allocations in the frequency range 275-300 GHz for radiocommunication services to accommodate the current and future requirements for radiocommunication services.

APT Members agreed to further consider this proposal (See Attachment 4 to this document) at the next APG meeting.

## **4.3.3 IMT for 2030 and beyond**

Proposals were received to consider the possibility of the identification of additional frequency bands for International Mobile Telecommunications (IMT) including additional allocation to mobile service on a primary basis, in particular frequency bands which have not been studied for IMT at the previous WRCs, taking into account the evolution of IMT technology and the expanding role of IMT such as to bridge the digital divide and to facilitate the digital transformation.

APT Members agreed to further consider this proposal at the next APG meeting.



# APG23-4 : WRC23 議題10(WRC27審議議題)関連情報

- 275-300 GHzを移動、固定、電波天文、地球探査衛星（受動）の各業務について一次割当すること。  
（日本提案でWRC27の議題案として検討対象）
- B5G/6G/IMT2030用IMTへ、新周波数帯で特定、移動業務への新規割当について検討する。  
（韓国が提案）





# 白書分科会 周波数作業班資料（第2回）

## 周波数作業班リーダー

2022年9月27日

- AWG(APT Wireless Group)は、第30回会合(AWG-30)を9月5日から9日まで開催した。
- Working Group IMTは、新APTレポート“current status and future plan of usage in the frequency ranges of 7.125-24 GHz and 92-300 GHz in Asia Pacific region”を作成中。
- AWG-30では、以下の質問に対する回答をもとに新レポートの作業文書を作成した(AWG-30/TMP-63 (Rev.1))。
  - 1) 7.125-24 GHz, 92-300 GHz帯、現在のアプリケーションと利用について
  - 2) アプリケーションを変更する計画
  - 3) 計画または可能性のあるアプリケーションについて
- AWG-31会合(2023年5月)にて新レポートを完成する予定。



- 作業班の所掌
  - 白書6.1.3.1章「周波数資源の利活用動向」のアップデートする。
  - B5G/6G周波数に関する海外・国内動向情報を追記する。
  - （可能であれば）B5G/6Gシステム周波数についての意見集約を行う。

	2022年						2023年				
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
白書アップデート											
白書バージョン									▲ 2.0版		
APG23会合		▲ APG23-4						▲ APG23-5			
WP5D会合				▲ 第42回			▲ 第43回				
海外・国内動向情報の収集											
周波数についての意見集約											

# 白書1.5版（概要版）の発行と 白書2.0版の作成に向けて

Beyond5G推進コンソーシアム  
白書分科会 ビジョン作業班

2022年9月27日

## ■ 事務局が提示する日程に従う

## ■ 参考：1.5版の改訂内容：

- (新)4.7.3.3(自動車業界)：5Gのユースケースと通信要件の節を追加
- 4.8.1(機械業界)：本文の更新
- 4.8.2.2(機械業界)：本文の更新
- 4.8.2.3(機械業界)：本文の更新
- 4.8.5.1(機械業界)：本文の更新
- (新)5.2章：Beyond 5Gを象徴する図と利用シナリオを追加

- 業界ヒアリング:先月までと同様、エディターの皆様から口頭で状況説明願う
  - 2.0版が最終版なので、業界ヒアリングと白書への反映をお願いします！
- 2030年社会検討ワークショップの再開
  - 11月と12月に開催したい
  - 講演の候補会社:
    - ✓ 呼びたい・呼んでもらいたい業界や企業、団体があれば教えていただきたい
- 「5Gの振り返り」についての白書への反映
  - 4.4節(通信業界)に反映
    - ✓ 担当エディター様にドラフトいただき、ビジョン作業班のメンバーでレビュー
  - 必要に応じて、関連するすべての業界(in 4.x節)に反映
    - ✓ 業界ヒアリングにおいて、「5Gの課題」についての指摘を受けている方は、その指摘事項や「5Gの振り返り(Excelファイル)」を4.x節に反映すること
- 2.0版に向けて
  - 1.5版と同様、自分たちで和文・英文を作成することで問題ない？ それとも英訳が必要？





# 白書分科会 技術作業班 白書1.5版更新報告と今後の進め方(案)

技術作業班 リーダ・サブリーダー

2022年9月27日

## 1. KPIのRadar chart案検討

- ・B5G白書(1.5版向け): 2030年に向けたB5Gシステムの「目標」として記載[新5.3章に記載=済]  
技術標準や勧告を定めるITU-R, 3GPPの要件定義とは区別して検討。記載の範囲はRANに限定せず、B5Gに係る範囲を広く検討して、白書1.5版に記載。
- ・ITU-R WP5Dへ提案検討するKPI (WP5D対応AHとの連携の中で検討):  
上記の「B5G白書に記載するKPI」をベースとしつつ、WP5Dの所掌範囲(地上移動系のRAN)部分を切り出して検討

## 2. 周波数(スペクトラム)関係の記載について(1.5版、2.0版向け)

- ・白書1.5版向け: 6.1.3.2章に記載している電波伝搬関係の記載について、追加情報の記載、参照文献情報の最新化 [済]
- ・白書2.0版(2023年3月)向け: B5Gに向けた周波数利活用の動向調査と記載の検討 [周波数作業班にて継続検討]

## 3. 1.5版(9月末)に向けた上記以外の修正・更新の確認 [字句の微修正など=済]

Ver.	Rev.	Date	Contents	Note
1.1	Draft	2022/9/22	① (New)5.3: Introduction of Target KPIs figures and information updates in the corresponding texts. <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Figure 5.3-2 Target KPIs for Beyond 5G (Quantitative indicators)</li> <li>・ Figure 5.3-3 Target KPIs for Beyond 5G (Qualitative indicators)</li> </ul> ② 6.1.2 Deployment aspect: Information updates in Figure 6.1-3 to Figure 6.1.6, and corresponding texts.           ③ 6.1.3.2 Studies related to Radio Propagation: Information updates <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2) Indoor line-of-sight and outdoor urban street canyon environments</li> <li>・ (4) Design of ground to NTN communication using the 100 GHz band</li> <li>・ (5) Indoor propagation characteristics in the 300 GHz band</li> </ul> ④ Others: Typo corrections (CO2→CO <sub>2</sub> )	'-rev1'

## 5. Capabilities and KPIs required in Beyond 5G

### 5.1. Capabilities required in Beyond 5G

### (新) 5.2. Conceptual figure of Beyond 5G and usage scenarios (←Vision作業班)

“Figure 5.2-1 Conceptual figure of Beyond 5G”の追記他

### (新) 5.3. Target Key Performance Indicators

#### (新) 5.3.1. Key features for Beyond 5G in the Beyond 5G Promotion Strategy →変更・更新なし

Figure 5.3-1 Key Features for Beyond 5G [2]

#### (新) 5.3.2. Consideration of Target Key Performance Indicators for Beyond 5G

Figure 5.3-2 Applicable parts of the target KPIs →変更なし

Figure Table 5. 3-1 Target KPIs for Beyond 5G (Quantitative indicators)

Figure Table 5. 3-2 Target KPIs for Beyond 5G (Qualitative indicators)

→1.5版で更新(6頁参照)

※あわせて本文の記載を一部更新

## 6. Technology trends

### 6.1. Observations of technology trends towards Beyond 5G

#### 6.1.1 Market demands → **更新なし**

#### 6.1.2 Deployment aspect → **統計情報を更新**

Figure 6.1-3 Number of mobile phone subscriptions worldwide

Figure 6.1-4 Number of subscribers multiplied by GDP-PPP

#### 6.1.3 Technical aspect of radio spectrum

##### 6.1.3.1 Trends in radio frequency resource utilization

→ **2版に向けて周波数作業班で記載内容の更新を検討(1.5版では、統計情報を更新)**

Figure 6.1-5 Frequency bands defined for 4G and 5G in the 3GPP specifications

Figure 6.1-6 Frequency assignments in Japan

##### 6.1.3.2. Studies related to Radio Propagation

→ **1.5版: 案件追加・更新、および、参考文献情報の更新**

(1) Path loss of frequency band at 2 GHz, 26 GHz, and 300 GHz bands in urban microcell scenario

(2) ~~Propagation Characteristics of~~ Indoor line-of-sight and outdoor urban street canyon environment ~~up to 100 GHz~~

↑ タイトル・内容更新

(3) Path loss modeling using machine learning

(4) ~~Design of Zenith propagation loss from~~ ground ~~level up to~~ NTN communication using the 100 GHz band ~~an altitude of about 16 km~~ ← タイトル・内容更新

(5) Indoor propagation characteristics in the 300 GHz band ← 新規追加

## 6.2章: 1.5版では内容の更新なし

6.2. System Platform and Application

6.3. Trustworthiness (Security, Privacy, and Resilience)

6.4. Network energy efficiency enhancement

6.5. Network coverage extension via non-terrestrial networks (NTN)

6.6. Network architecture

6.7. Wireless and optical

※2版改訂に向けて「社会インフラとしてのResilience, securityの視点などからNWアーキ技術の考察追記検討」のご提案あり。

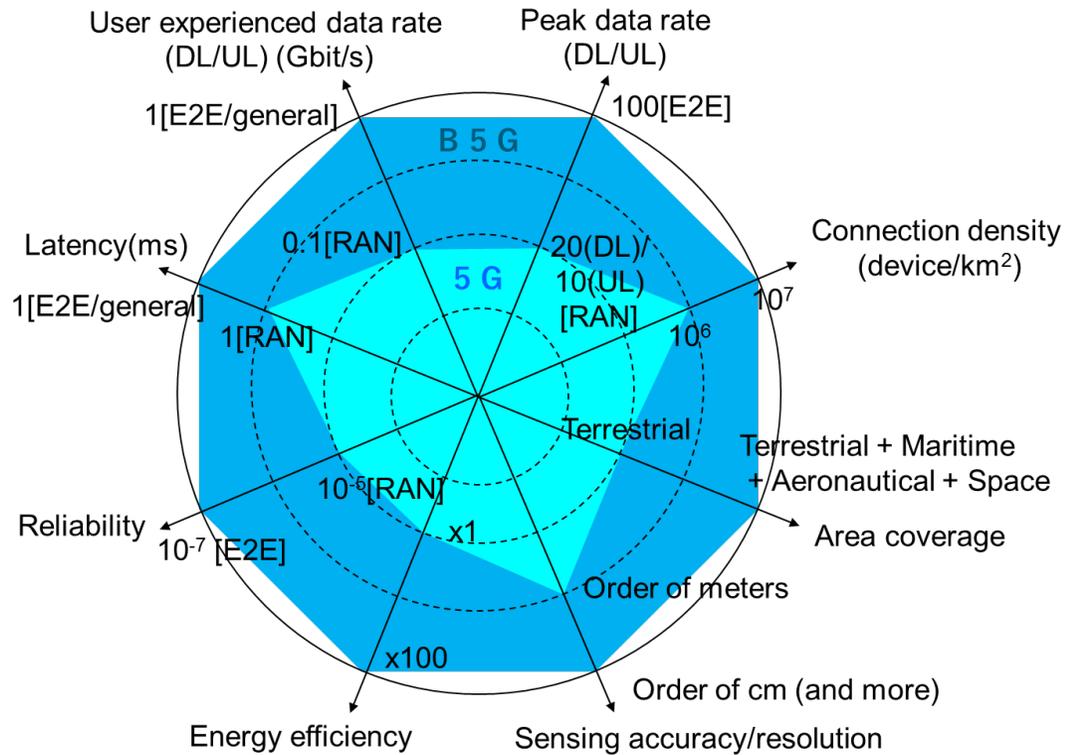


Figure 5.3-2 Target KPIs for Beyond 5G (Quantitative indicators)

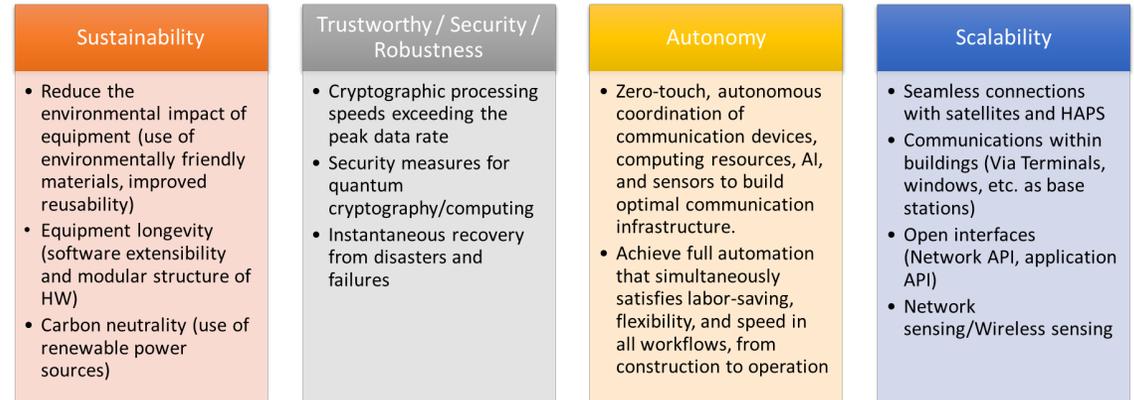


Figure 5.3-3 Target KPIs for Beyond 5G (Qualitative indicators)

1. 白書1.5版: 概要資料作成 [~10月11更新]、HP公開[10/14]
2. 白書2版に向けた検討継続(2022年度中に2版へ更新を検討)

## **[白書 2.0版に向けた検討(案)]**

### **5. Capabilities and KPIs required in Beyond 5G**

**5.3. Target Key Performance Indicators → 2.0版に向けて、特段の情報更新なければ変更なし**

**5.3.1. Key features for Beyond 5G in the Beyond 5G Promotion Strategy**

**5.3.2. Consideration of Target Key Performance Indicators for Beyond 5G**

### **6. Technology trends**

**6.1. Observations of technology trends towards Beyond 5G**

**6.1.1 Market demands → 更新なし**

**6.1.2 Deployment aspect → 統計情報更新を検討**

**6.1.3 Technical aspect of radio spectrum**

**6.1.3.1 Trends in radio frequency resource utilization → 周波数作業班にて更新検討。**

**6.1.3.2. Studies related to Radio Propagation → 必要に応じて更新・追加を検討**

**6.2. System Platform and Application**

**6.3. Trustworthiness (Security, Privacy, and Resilience)**

**6.4. Network energy efficiency enhancement**

**6.5. Network coverage extension via non-terrestrial networks (NTN)**

**6.6. Network architecture**

**6.7. Wireless and optical**

※「社会インフラとしてのResilience, securityの視点などからNWアーキ技術の考察追記検討」のご提案あり。

(Vision作業班検討、目標KPI検討に関連して更新すべき内容があれば、あわせて検討)

日程	白書分科会	技術作業班	記事
3月	Ver.1.0白書完成		対外発信
6月	Workshop on future IMT Vision(WP5D)]		ITU-R WP5Dにおいて、REP. "ITU-R M.[IMT.FUTURE TECHNOLOGY TRENDS]"最終化(予定)
9月	Ver.1.5白書完成 (9/30 日英版完成+スライド更新完)		
2023年3月	Ver.2.0白書完成		対外発信
6月			ITU-R WP5D <ul style="list-style-type: none"> <li>Technical feasibility of IMT in bands above 100 GHz(above100)"最終化"(予定)</li> <li>REC.. "ITU-R M.[IMT.VISION 2030 AND BEYOND]"最終化し、SG5へ上程(予定)</li> </ul>

- 最新の技術動向調査・更新
- 電波伝搬モデル検討関係の情報更新(3月期学会公表情報など追記)
- Spectrum関係の記載更新検討(ITU-R WRC対応など念頭)

- ITU-R WP5DにおけるAbove 100GHz勧告への貢献を念頭にWP5D対応WGと連携

(XE) ITU-R WP5Dへの寄書と会合

- ~2022年5月 → 6月期会合
- ~2021年8月中旬 → 10月期会合
- ~2021年12月末 → 2月期会合



# 【参考】白書分科会・作業班会合日程

日程	白書分科会	ビジョン作業班	技術作業班
2021/4/27	第1回会合		
2021/5/25	第2回会合	第1回会合	第1回会合
2021/6/15		第2回会合	第2回会合
2021/6/22	第3回会合	第3回会合	第3回会合
2021/7/6			第4回会合
2021/7/21		第4回会合	
2021/7/27	第4回会合	第5回会合	第5回会合
2021/8/3		第6回会合	
2021/8/24	第5回会合	第7回会合	第6回会合
2021/9/14		第8回会合	
2021/9/28	第6回会合	第9回会合	第7回会合
2021/10/26	第7回会合	第11回会合	第8回会合
2021/11/30	第8回会合	第12回会合	第9回会合
2021/10/12		第13回会合	
2021/12/21	第9回会合	第14回会合	第10回会合
2022/1/25	第10回会合	第15回会合	第11回会合
2022/2/22	第11回会合	第16回会合	第12回会合

日程	白書分科会	ビジョン作業班	技術作業班	周波数作業班
2022/3/22	第12回会合	第17回会合	第13回会合	
2022/4/26	第13回会合	第18回会合	第14回会合	
2022/5/24	第14回会合	第19回会合	第15回会合	
2022/6/28	第15回会合	第20回会合	第16回会合	
2022/7/26	第16回会合	第21回会合	第17回会合	
2022/8/23	第17回会合	第24回会合	第18回会合	第1回会合
2022/9/27	第18回会合	第26回会合	第19回会合	第2回会合
2022/11/1	第19回会合	第27回会合	第20回会合	第3回会合
2022/11/22	第20回会合	第29回会合	第21回会合	第4回会合
2022/12/27	第21回会合	第31回会合	第22回会合	第5回会合

←本日  
←次回





# 白書1.5版最終ドラフト及び今後の作業について

## ■ 作業フォルダ、最終版ドラフト格納場所（ARIB share point）

[共有ドキュメント](#) > [50 白書](#) > [1.5版](#)

## ■ 白書（日本語版&英語版）

9/22（木）各作業班からの原稿〆切

9/27（火）白書分科会にて最終確認

9/28（水）17:00 確認〆切（**エディトリアルな修正のみ受付**⇒事務局まで）

～ 最終編集、アップロード作業（事務局）

**9/30（金）HP上で公開**

## ■ 概要版（PPT資料、日本語版&英語版）

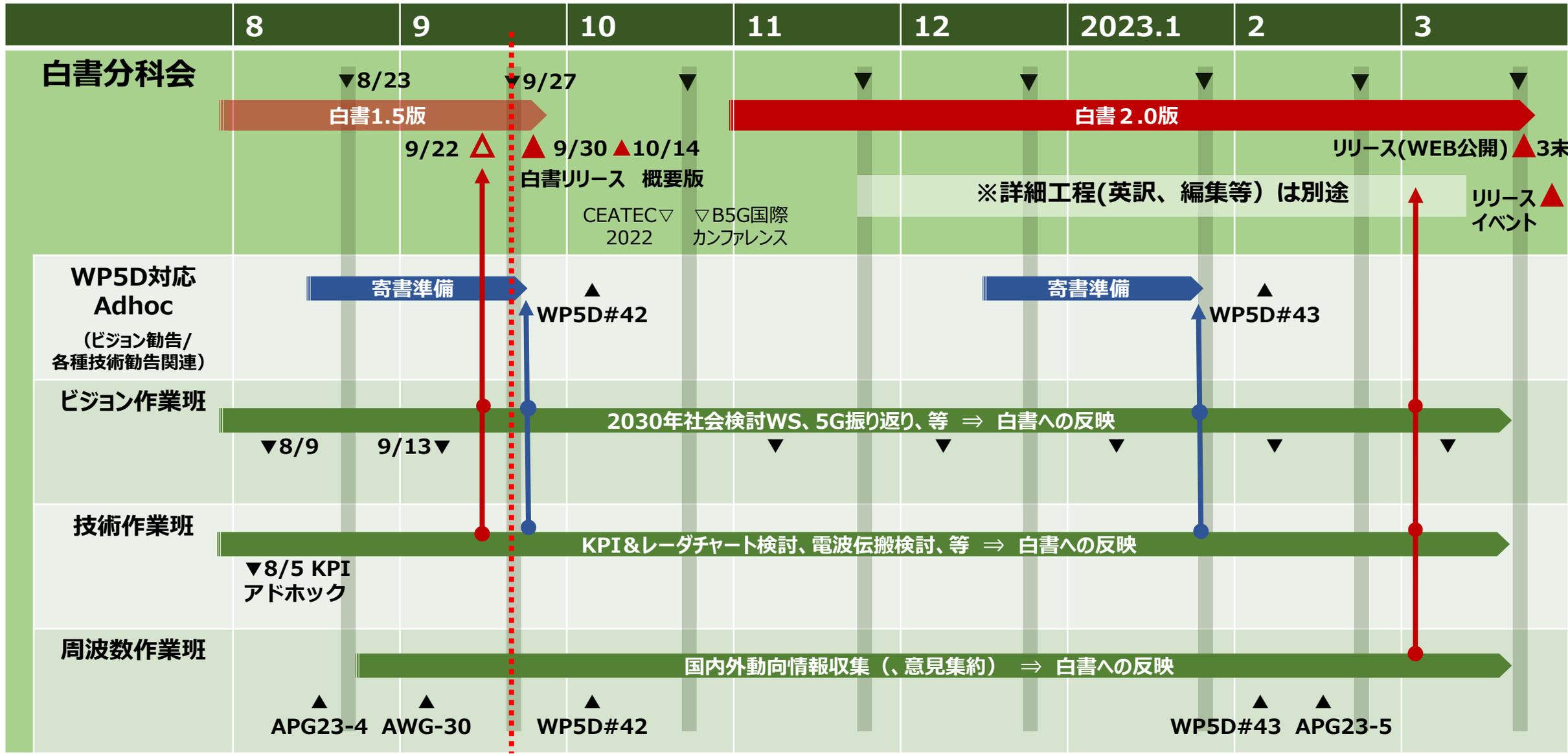
10/11（火）各作業班からの原稿〆切

～ 最終編集、アップロード作業（事務局）

**10/14（金）HP上で公開**



# 活動スケジュール（主な活動、マイルストーン）



本日



# 会合日程

会合		開催日時（基本）
白書分科会（各作業班の合同開催）		毎月1回 第4火曜日 15時-18時
ビジョン作業班	2030年社会検討WS 他	毎月1回 第2火曜日 15時-18時
		毎月1回 第4火曜日 15時-18時の一部
技術作業班		毎月1回 第4火曜日 15時-18時の一部
周波数作業班		毎月1回 第4火曜日 15時-18時の一部

白書分科会と  
合同開催

本日⇒

日付	時間	白書分科会	ビジョン作業班	技術作業班	周波数作業班	備考
9/27(火)	15:00-18:00	第18回	第26回	第19回	第2回	
11/1(火)	15:00-18:00	第19回	第27回	第20回	第3回	※基本日程の10/25(火)から変更
11/8(火)	15:00-17:00		第28回 (2030年社会検討WS)			
11/22(火)	15:00-18:00	第20回	第29回	第21回	第4回	
12/13(火)	15:00-17:00		第30回 (2030年社会検討WS)			
12/27(火)	15:00-18:00	第21回	第31回	第22回	第5回	